

ほたるパーク周辺開発事業 町民説明会 @牛牧区

会議記録

日 時 令和4年8月4日(木) 19:00～ 牛牧伝統芸能伝承館

出席者 参加者 39名

町 壬生町長・三沢建設課長・岩崎建設課課長補佐・宮内係長
・教委橋本主事・主査高田

以下、会議内容

【区長あいさつ】

牛牧区長 原 清実 様

山吹ほたるパークの説明会とまちづくり懇談会を合わせて開催となった。ほたるパーク周辺開発やかわまちづくりは町の重要な事業。普段思っていることを出していきたい。

まちづくり懇談会では、各地区で作成する必要がある防災計画の見直しの参考にさせていただきたい。

壬生 町長

昨年のまちづくり懇談会は、「今後の牛牧区について」というテーマで開催させていただいた。その前年は新型コロナの影響で不開催。その前は町の将来像というテーマで開催させていただいた。今年度は各区でテーマや実施方法の検討をいただき、町と色々な話し合いができる場にしていただきたいと4月当初にお願いさせていただいた。

また山吹ほたるパーク周辺の開発について、まだまだ町から説明ができていないところがあるので完了した基本設計について説明の時間を設けてほしいとお願いさせていただいたところ、牛牧区についてはまちづくり懇談会と合わせて開催というご案内をいただきましたので本日の形となっていることにご理解をいただきたい。

本日の雨で非常に大きな被害を受けている新潟県、山形県、また現在長野県内で

も飯山市で土砂災害警戒情報が出ている状況。予想ができない雨が降るのも温暖化の影響かと感じているが、雨の場合は事前予測ができる。行政から避難の準備段階から情報を提供しており、土砂災害警戒区域にお住まいの皆様には、昨年アンケートを兼ねて通知を送らせていただいておりますが、そういった皆様には自身の住んでいる場所をご理解いただき、ぜひ早めの避難をお願いしたい。地震等については予測ができない。防災計画をつくる際は、雨の場合と地震の場合といったように、2本立ての計画が必要になると思うので、ぜひ地域の中で検討していただきたい。

信州大学の誘致に関して、前向きに取り組んでほしいという意見をいただく。町としても、高森町は町村では唯一、信州大学と包括連携協定を結んでいる町でもあるので、情報共有しながら当地域への誘致へと進めてきたが、今のところ国や大学として新学部の設置に関して前向きに進めるのは難しいという状況となっているとのこと。さらに長野市と飯田市の誘致合戦という状況になってしまったことも国の判断をしづらくしている。新学部設置についてどういう方向性で、どういう学生が何のために学んで、どういう社会人になっていくか、大学として学内で情報共有をしている状況。誘致について盛り上がっていたが、現在は難しい状況になっている。信州大学に限らずチャンスがあれば情報をキャッチし、高等教育機関の設置に向けた動きについては頑張ってもらいたいと考えている。

ほたるパーク周辺開発について、南信州には、プロ選手や子供たちが練習できる施設、特に屋外競技施設が充実していないのが現状。町長になってすぐ、かわまちづくり計画を進める中で、長野県サッカー協会から南信の拠点になる施設を入れてほしいという要望や、子供たちが置かれている状況についてお聞きした。かわまちづくり計画地に入れられないか検討したが、なかなか入れられずにいた。ほたるパークはほたる祭りと操法訓練、操法大会、消防団訓練しか利用がない。現在閉店したパチンコ屋をクラブハウスに使用しながらほたるパークをサッカー場として活用できないか相談したところ現状の計画となっている。子ども達の未来を育てていく場所であると同時に、地域の皆さんがいろんな形で活用いただける方法を提案させていただき、ぜひ牛牧の皆さんにも利用いただけるものとしたい。

新型コロナウイルスが厳しい状況のなか、今日の説明会が開催にこぎつけていただいた、区役員等のみなさま、参加いただいた皆様、また牛牧のふれあい敬労祭も計画をいただいている、また防災の取組みの計画などの話を聞いている。実施方法の検討は必要だが、地域のイベントを縮小することなくすすめてくれている。牛牧は高森町の中でも一番まとまっていて活力がある。町民の皆さんにもPRしていただき活動をしていただきたい。

【資料説明】

事務局

【意見交換会】

■参加者

前回の説明では8億円数千万くらいだったが、今回の説明では10億7千万円となっていて、町の持ち出しが2億円強。増えた分は具体的にどういう理由か。

⇒事務局

前は基本計画に基づく概算工事費にて説明したが、だんだん詳細に設計が進み詳細なものとなっていったこともあるが、一番の理由は資材が高騰していること。また、サッカー関係者と懇談を行う中でいただいた要望を取り入れた施設もある。例えば常設の観客席やソーラータイプの照明を選定したことによる増額など。また広い面積に降る雨水を一時的に貯留するための施設を作るなどによって増額となっている。

■参加者

町の持ち出し部分も当然増えていると思うが。

⇒事務局

事業としては補助金を充てるものになる。補助金は事業費の1/2。事業費2億円強の増額部分についても1/2は補助金。補助金以外の部分の1/2については90%に起債を充てるが、この起債は、返済する際に一部交付税措置がある。それ以外の部分は一般財源となる。

■参加者

できれば民間事業者に委託する、というのが、湯が洞が宙ぶらりんになっている。そういった状況がある中で、この施設を委託するということだが、きちんと元が取れるのか。サッカー場は夏場に使うことが多いと思うが、照明をつけると虫が飛んでくると思う。そういった部分への対策は入っているのか。

⇒事務局

湯が洞は中央アルプスリゾートによる指定管理。事業者が努力して立て直すように努力していただいている。コロナの状況で入浴者が減ったが、昨今は持ち直して

おり、宿泊も休日の予約が入れられないくらいと聞いている。残念ながら飲食についてはお客様が戻っていない。価格帯も物価高によってどの店舗でも高騰し、宴会メニューだと6,000円ほどとなっている。湯が洞も6,000円で飲み放題宴会メニューを提供。地元店舗なのでぜひご利用いただき、ご意見を寄せていただきたい。サッカー場が採算をとれる施設になるのかという点については、子供たちがサッカーをする、町民の健康増進のために利用することが中心となった場合に、採算をとろうとすれば費用をいただくこととなる。賛否ご意見はあるかと思うが、私は一般財源を入れても町民は無料とするような方向がいいと思うが、採算をとる施設になる方がいいとご意見もいただいている。採算をとろうと考えると、1時間3,000円程度の利用料をいただいても厳しい。その他照明代なども時間当たりで利用料をいただくことも考えられる。そういった点は皆様からの意見もいただきながら、最終的には共同検討者とも相談しながら決めたい。

夜間照明なので虫は寄ってくるが、この地域はもともとパチンコ店の照明がついていて、MEGA ドン・キホーテの照明が12時までついている状況なので、この施設がついたことで大きく変わることはないと考えている。また、電撃殺虫器を設置する予定。

■参加者

様々な利活用。高森中の子がテニスをする際に、豊丘村のコートを使う。町民体育館の下にもあるがそれでは狭い。何面取れるか分からないが、ここでテニスができるならうれしいと思うし、人工芝ピッチの中にテニスコートを臨時で作ることができればいいのではないかと思う。サッカー場や屋内運動場が、子供たちの為により多く利用できるようなになればいいのではないかと思う。

⇒事務局

中学生のテニスは夜間毎週2日、高森の町営テニスコートを利用しているが、それ以外にも豊丘村の多目的広場テニスコートも利用。豊丘村のテニスコートに南信地域の主要メンバーが集まって練習する集まりがあって、コーチ陣も集まって練習することがある。テニスコートは豊丘村、松川町と比べると高森町のテニスコートは人工芝2面と中学校グラウンドに3面で、特にグラウンドのコートは照明などで課題がある。屋内運動場にはテニスコート1面、雨天時にもテニスできるようになる。サッカーコートとは芝の長さが違うから兼用は難しい。中学校グラウンドのテニスコートをもう少し整備するなどは検討してまいりたい。

■参加者

サッカー場の部分は、山吹区からの借地と聞いているが。

⇒事務局

もともと町の用地なので区から借りるということは計画していない。全て町の土地になっている。山吹区が土地を買う時に若干の負担をいただいたが、その分は新しく多目的広場を利用いただくこととなっているので、特に借地契約をするという予定はない。

壬生 町長

いろんな形でサッカー場関係の説明が遅くなり、非常にご心配をおかけしたこと、お詫びを申し上げます。町民の皆さんにいろんな形で利用してもらいたい。将来的にはスポーツの拠点として、町民だけでなくいろんな皆さんに利用頂き、また見学に来ていただけるような施設にしていきたい。今回に限らず、思いついた点や気になる点があれば町にご意見をいただきたい。